

第31回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

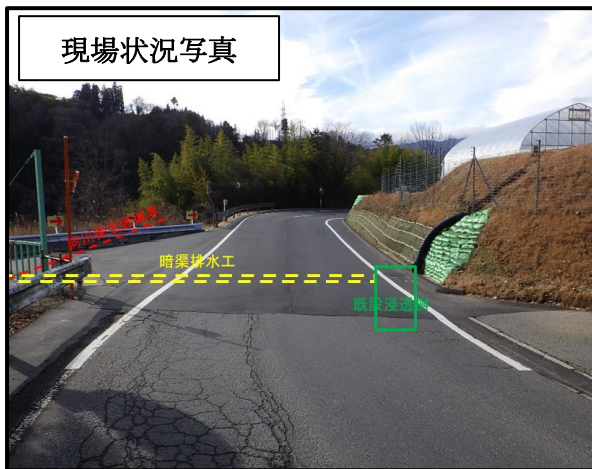
・リニア工事による影響調査の情報や住民意見を共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、ＪＲ東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が3月21日に交流センターに於いて、関係者48名が出席し開催されました。以下に概要をお知らせします。

① (主) 松川インター大鹿線改良工事について

・(主) 松川インター大鹿線について、実施中及び完了済みの箇所について説明がありました。

① 道路改良事業（葛島）：関係機関と協議中

② 道路改良事業（二軒屋）：調査・設計、道路拡幅工事（松川町側）



◆工事に伴う交通規制について

令和6年2月に完了した道路築造工事について、排水流末処理として排水路工事を実施します。

横断排水管の設置工事中は「片側交互通行」となる予定です。施工時には警備員による誘導（夜間は信号）を予定しています。

通行される皆様にはご不便をおかけしておりますが、安全第一にて取り組みますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆交通規制（片側交互通）実施期間：

令和6年4月上旬（1週間程度）

③ 道路改良事業（半の沢）：盛土造成工事

④ 防災対策事業（四徳大橋西）：設計

⑤ 道路情報提供設備：西下トンネル～東山トンネル 道路情報カメラ5基設置（接続工事中）
東山トンネル 電光表示板3基設置（施工完了）

⑥ トンネル事業（落合トンネル）：トンネル工事中

- ・工事は現在、松川町側坑口部の伐採及び落石対策を実施しています。今後、ヤード造成を行った後にトンネル掘削に着手していきます。（トンネル掘削：令和6年6月頃を予定）
- ・今回のトンネル工事では、途中で既設の大鹿トンネルに擦り付ける計画となっており、擦り付け部の施工を行う際には片側交互通行、一時的な夜間全面通行止め等の規制を行います。
- ・また、トンネル工事に伴う発生土は大鹿村内への運搬を考えており、リニア工事や砕石組合等と十分に調整を図ります。

○その他工事(令和6年度予定)

- ・法面工事：半の沢
- ・修繕工事（橋梁補修）：

松除3号線、こいけどう橋



② 大鹿村内のトンネル工事進捗状況について

- ・小渋川非常口：本坑（品川方）の掘削を進めています。
- ・釜沢非常口：先進坑（品川方）の掘削を進めています。
- ・除山非常口：先進坑（品川方）の掘削を進めています。
- ・青木川非常口：本坑（品川方）の掘削を進めています。

小渋川非常口(本坑)



小渋川非常口（本坑） 施工状況

除山非常口(先進坑)



除山非常口（先進坑） 施工状況

釜沢非常口(先進坑)



釜沢非常口（先進坑） 施工状況

青木川非常口(本坑)



青木川非常口（本坑） 施工状況

③ 発生土仮置き場の状況について

- ・発生土仮置き場B（三正坊）は、土砂の搬出を適宜行っています。
- ・発生土仮置き場E（小渋川変電所予定地）は、土砂の搬入・搬出を行っています。

発生土仮置き場B(2021年10月の状況)
仮置き量:締固めで約82,000m³



発生土仮置き場B(現在の状況)
仮置き量:締固めで約27,000m³



④ 工事用車両通行台数の実績について

■資機材運搬車両

月別日平均 往復台数		下青木 薬師堂前	沢戸橋	大鹿村 役場前	半の沢	渡場 交差点
資機材運搬車両	R5.12	15.7	71.3	32.4	34.0	34.0
	R6.1	43.2	118.9	39.2	40.7	40.1
	R6.2	45.2	118.1	45.7	48.2	48.2
	R6.3	28.3	120.5	44.2	45.3	45.3

※ 「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日で割り戻した数値です。

※ R6.3 の台数は、3/15 までの実績台数です。

■発生土運搬車両

月別日平均 往復台数		下青木 薬師堂前	沢戸橋	大鹿村 役場前	半の沢	渡場 交差点
発生土運搬車両	R5.12	42.0	275.8	317.8	317.8	317.8
	R6.1	43.6	303.4	347.0	347.0	347.0
	R6.2	49.2	297.2	346.4	346.4	346.4
	R6.3	62.2	239.5	301.7	301.7	301.7
半の沢道路改築事業 への発生土運搬車両	R5.12		104.7	104.7	104.7	
	R6.1		63.0	63.0	63.0	
	R6.2		0.0	0.0	0.0	
	R6.3		0.0	0.0	0.0	
鷹ヶ巣沢環境対策事業 への発生土運搬車両	R5.12		113.4			
	R6.1		197.4			
	R6.2		38.9			
	R6.3		52.2			

⑤ 工事用車両通行台数の予定について

		R6年4月		R6年5月		R6年6月	
		月別 日平均	日最大	月別 日平均	日最大	月別 日平均	日最大
資機材運搬		50	80	50	60	50	60
発生土運搬	三共地区公共施設整備事業 (中川村三共)	0	300	40	300	40	300
	新宮川岸地区土地改良事業 (駒ヶ根市中沢)	300		260		260	
	小和田地区基盤整備事業 (中川村小和田)	170	300	200	300	200	300
	半の沢道路改築事業 (中川村葛島)	100	300	100	300	100	300
合計		620	980	650	960	650	960

⑥ 鷹ヶ巣沢環境対策事業の状況について

・地盤改良、左岸道路構築、護岸工等を行っています。

■モニタリング結果

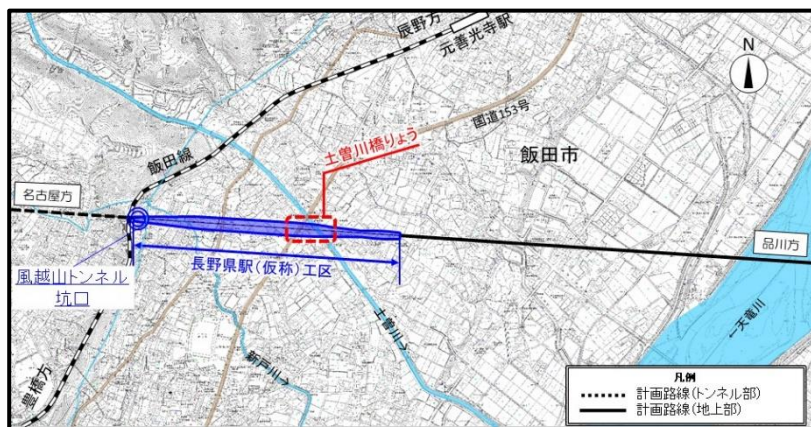


【施工前】		測定結果 (f / L)			判定
測定場所		令和5年10月30日			
A1 (仮置き場E)		2.6			○
A2 (上蔵地区)		0.39			○
A3 (2床～3床固工間の右岸)		0.68			○
A4 (小渋川左岸)		0.22			○
【施工中】		測定結果 (f / L)			判定
測定場所		1回目 (令和5年11月8日)	2回目 (令和5年12月5日)	3回目 (令和6年1月11日)	
仮置き場E A1		2.0	1.5	0.68	○
上蔵地区 A2		0.68	0.34	0.45	○
A3 (2床～3床固工間の右岸)		—	0.79	1.1	○
A4 (小渋川左岸)		—	0.79	0.22	○
大気汚染防止法に基づく基準値：10f / L ※fは「fiber (ファイバー)」の頭文字であり、空気1Lあたりのアスベストの本数を示したものである。					

⑦ 対策土の活用について（飯田市）

○橋りょう基礎中詰材としての発生土活用

- ・対策土（※）5,000 m³を活用予定
 - ・運搬期間：令和6年9月～
 - ・運搬台数：往復約30台/日
- （※）自然由来重金属等の基準値を超え、
活用に当たって環境安全性を確保する
ための対策を施す発生土



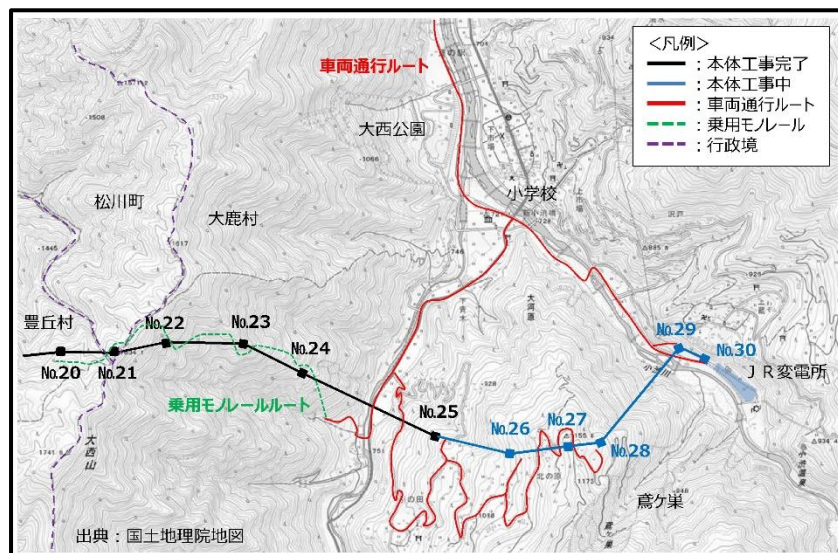
- ・運搬はダンプにて行い、荷台には防塵シートを敷設して、飛散防止対策を徹底します



⑧ 送電線工事について

【工事の進捗状況】（2024.3.21現在）

- ・本体工事は、No.26、No.28の鉄塔組立工事が完了しました。
- ・4月からNo.21～24の緑化作業、6月からNo.25～29間の架線工事に着手します。



■ 工事用車両の通行台数（実績と予定）

（単位：往復台数）

	実績						今後の予定		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
月別日 平均台数	8.0台	8.0台	4.0台	1.0台	0.8台	0.0台	1.8台	1.8台	10.0台

○次回（第32回）開催日程等について

- ・次回開催時期を令和6年6月下旬から7月上旬として閉会しました。